



6月4日、大正中学校音楽部の13名によるミニライブが町内の量販店で開催されました。前半の曲目「バードランド」、「シェイク・イット・オフ」では、立ち上がりソロで演奏する姿に観客席から「かっこいい!」「上手やねえ」という声がたくさん聞こえてきました。その後「ムーンライト・セレナーデ」、「イン・ザ・ムード」と続き、テレビドラマの主題歌で恋ダンスとして話題になった星野源の「恋」では、アップテンポな曲調で会場の手拍子は最高潮に。中学生が演奏しているとは思えない本格的な生のジャズオーケストラのライブに、買い物客も立ち止まり聴き入っていました。



子どもたちの未来に美しい豊かな森をつなごう! 森林散策&モミジ植樹をしました

5月28日、町内外から親子連れなど28人が参加して、松葉川温泉の山で「モミジの里づくり」が開催されました。



池田十三生さんのガイドで森林を散策した後、全員でモミジの苗を植樹。初めてクワを使う子どもたちもボランティアの方に教わりながら、一生懸命に土を掘り、苗を植えました。汗ばむほどの陽気でしたが、大人の参加者も夢中になって、計200本の苗を植樹しました。

これからの成長を楽しんでいただけるように、植樹した苗には自分の名前やメッセージを描いたプレートを掛けていますので、新緑や紅葉の季節にはぜひ見に来てください。



四万十町子ども会ソフトボール大会

5月14日、四万十町子ども会ソフトボール大会が窪川運動場多目的広場で開催され、町内外の11チームが参加しました。予選リーグの後、決勝トーナメントに進出した4チームが激戦を繰り広げました。決勝戦では、十川スポーツ少年団が最終回に大逆転サヨナラ勝ちで優勝しました。

大会結果

優勝	十川スポーツ少年団
準優勝	東津野スポーツ少年団
第3位	精華ファイターズ
〃	土佐SBC

平成29年5月14日
四万十町子ども会ソフトボール大会(決勝)

	1	2	3	4	5	6	7	計
東津野	0	0	2	1	1	0		4
十川	0	0	0	1	0	4	x	5



▲優勝：十川スポーツ少年団



故・武田正一さんに叙位 従五位授与

元窪川町教育長で、今年の4月に逝去された故武田正一氏の叙位伝達式が6月16日に四万十町役場で行われました。このたび、従五位に叙された武田氏は昭和18年に教職に就かれ、以来38年間の長きにわたり教育振興に貢献されるとともに、退職後は窪川町教育委員会委員長や教育長などの重職を歴任されました。こうした多年にわたる功績が認められ、平成19年4月には、瑞宝双光章を受賞されています。

伝達式には、遺族の武田宗家氏が出席し、中尾町長から位記が手渡されました。



「四万十町民講座 中南米に見るもう一つの四万十」を開催しました

6月10日、役場東庁舎で JICA 職員による移住の歴史の説明、パラグアイ高知県人会長である山脇生年氏による講演のほか、南米訪問県議団による報告などが行われました。

参加者による班別グループ討議を行い、今後の日系社会とのつながり、理解促進のために何ができるかなどについて話し合いました。

また、会場では、移民トランクや活動内容の展示なども行いました。



下津井でゲンジボタルとヒメボタルが共演

津賀ダム湖周辺ではホタルの見頃を迎え、下津井集落から下流では黄緑色の強い光を放ちながら光跡を描くゲンジボタルが、上流域の宗海橋付近の森では金色でフラッシュのような短い光を放つヒメボタルが、幻想的な空間を作り出しました。

午後8時頃、遊覧船で下流に進むと、どこからともなく黄緑色の光の点滅が現れ始め、30分ほどすると、真っ暗な湖面はゲンジボタルで無数の星の流れる夜空のように明るくなりました。

一方、ヒメボタルは水の上ではなく主に森の中に生息しているので小さい森の妖精とも呼ばれます。チカチカと点滅させながら発光し、真っ暗な森を別世界のように明るく照らした後、1時間ほどでまた静かな暗闇へと戻りました。



▲ゲンジボタル (6月15日撮影)

▲ヒメボタル (6月16日撮影)